

社会新報個人版 岩手県北上市議会議員

佐藤ケイ子 活動報告 No.10



いきいき通信

発行所／社会民主党全国連合機関紙宣伝局 東京都千代田区永田町1-8-1
佐藤ケイ子後援会 岩手県北上市下江釣子 16-154-3 (0197-77-2126)

ごあいさつ



この一年…

「この1年間、いったい何をしていたの？」と、毎年この会報を作成しながら、振り返えさせられます。

思えば、衆議院の解散総選挙はいつかと、振り回され続けた1年間でした。仲間と共に各種の集会を企画し、ポスターや宣伝物を作成し、宣良さんの挨拶行動などを展開してきました。いつもながら多忙な日々でした。

だまされ続けて…

安倍、福田と続けて政権を投げ出し、選挙の顔として登場した麻生首相は、経済危機とともに小泉構造改革の痛みが噴出し、支持率低下で解散カードが切れないという状況がずっと続いています。結局、首相交代で政治が変わるかと期待しても、何も変ることはできないことを証明しました。そもそも「自民党をぶっ壊す」と言って誕生した小泉政権からして行き詰まりの産物

で、この5年間で問題は更に複雑化しました。

だまされて閉塞感を感じても、シラケてばかりではいられません。何か行動をおこさなければ。

政権交代…

今度の選挙は、政権交代が現実のものになるかが焦点ですが、政権が変わって自民党の大臣から民主党の大臣に顔を変えただけでは意味がありません。必然的に、持続可能な福祉型社会への政策転換が必要になります。そこに社民党の果たす役割があるのです。「政権交代」さえすれば、それで解決されるわけではありません。

いよいよ…

いよいよ衆議院の任期満了が近づいています。候補者として挑戦予定の小原宣良さんの、行動力やご苦労には頭が下がります。

岩手4区から、野党の議席を複数獲得するよう、選挙区と比例区で頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

みんなで生ビールを飲もう！
ノンアルコールも、ちゃんと冷やしておきます。

毎年好評の

佐藤ケイ子を囲む 納涼パーティーのご案内

とき 7月23日(木)午後6時30分

ところ 江釣子地区交流センター(大ホール)

会費 男性 2,000円・女性 1,000円

～歌・踊・抽選会あり・とび入り歓迎～

誰でも入場できますので、お誘いあわせの上ご参加願います。



いつも、みなさんの芸で盛り上げて頂きありがとうございます。



この1年間の一般質問



…政府の政策転換が必要であることは言うまでもなく…制度の充実を求める…同時に、地方自治体の独自の取り組みこそが…貧困の連鎖を断ち切るには、子ども・家族政策を重点化することと、ひとり親家庭への支援を強化することが…

20年12月議会

介護保険制度の充実を

質問 次期介護保険事業の計画にあたって、サービス満足度やニーズ調査の結果はどうだったのか。次期給付費と介護保険料はどうなるか。

どうなった 21年度からの介護保険料は、基準月額3,889円から386円アップし4,275円になりました。(所得により年額25,656円~76,956円)これは、介護給付費4.8%増と、介護従事者の待遇改善3%増によるものです。しかし、職員の待遇改善には程遠い現実があります。また、20年8月現在の特養ホーム待機者は276人、内55人は緊急入所が必要となっているそうですが、介護保険発足時の理念である「介護の社会化」と、現実の矛盾を感じます。

質問 認知症サポーターの養成により、「認知症でも安心して暮らせるまち」の取組みを。

どうなった 6/20の岩手日日新聞によると、口内小で認知症をテーマにした寸劇が行われたそうです。市役所長寿社会課の職員6人が「ぼくのおじいちゃん」という寸劇を披露し、児童は認知症について理解を深め、お年寄りを大事にする気持ちをはぐくんだ。と掲載されていました。

子育て環境の充実を

質問 ①幼稚園保育園は臨職が多い、適正配置を。②保育園の待機状況と今後の施設整備は。

答弁 ①保育園の臨職は49人、幼稚園は7人、その内クラス担任は11人である。財務等の業務内容を調査し、配置を検討する。②待機児童は、12ヶ月で59人になっている。もう1ヶ所の保育施設の検討が必要な時期にきている。

質問 公立幼稚園存続のため、保護者が署名行動や地域活性化の行動を行っている。平成23年度からの民間移行は見直しを。

答弁 民営化の理解を得るのは難しい状況だが、説明会を重ねていく。若い人たちが地域活性化と子どもたちの環境を考えているので、期限にこだわらずに対応していく。

どうなった 「北上っ子5つの約束」に取り組むと、教育長が方針を述べたため、具体策を質問しました。しかし、これから議論を重ねていくということで、気が抜けてしまいました。



21年3月議会(代表質問)

2016年の国体は北上で

質問 北上が国体の主会場地になるよう、積極的な誘致を。北上総合運動公園の県営化にむけ、戦略的な取り組みを。

どうなった 6月24日の県準備委員会第6回常任委員会において、主会場を北上とすることが決定されました。盛岡の激しい誘致活動もありましたが、財源問題もあり「簡素・効率化」の方針によって決められたということです。雇用問題で厳しいニュースが続いていたので、市民にとって朗報となりました。

財政見通しと総合計画の達成見込は

質問 ①中期財政見通しでは、22年度から臨時財政対策債を発行しない計画だったが動向は。②総合計画の達成見込みは。実施困難事業の公表及び地域との早期協議を。

どうなった 21年度以降の実施見込調査を行い、16地区自治組織に公表するという答弁でしたが、現在地域計画の策定作業中であり、タイミングが遅いと思うのですが。

福祉施策の充実を

質問 ①公立保育園・幼稚園の退職職員が多いが、新年度の体制は。②大規模学童への国庫補助廃止に対し、適正化にむけた計画は。③精神障がい者支援事業の内容は。

どうなった 4月から本通りの空き店舗を利用して「精神障がい者支援事業所」が開設され、生活訓練やボランティア活動等の支援を行っています。

にぎわいづくりにむけて

質問 全国大会等の誘致にむけ、各団体へ積極的な要請を。宿泊パックで市内文化施設の無料公開を。③観光関係団体とコンベンション協会機能を。

どうなった 宿泊パックは、さっそく4/18~の「さくらまつり」から実施され、渡し舟・民族村・鬼の館・利根山美術館の無料入場券が配布されました。300人近くの利用があり、大変好評だったことです。コンベンション協会については、緊急雇用対策補助金を活用し、調査活動が行われています。

三セクホテルの支援課題は

質問 ①市税徴収の経過に問題はなかったか。②予約を受け付けていないのは、新館の抵当権の問題が影響か。③市の支援策に対する市民の声は大変厳しいが、説明責任は果たしているのか。

どうなった ホテルニューヴェール北上は、負債総額38億5000万円で民事再生を申請していましたが、3月22日に営業停止に踏み切ったため、市の債権12億4400万円を放棄する議案は市議会に提案されることなく、破産手続きに移行されました。破産管財人(村井三郎弁護士)の下で、競売等の財産処分が行われることになり、財産状況報告等集会は9月1日となっています。

家庭教育学級の充実を

質問 幼稚園保育園での家庭教育学級開催を生涯学習として推進すべき。「北上っ子5つの約束」のねらいは何か。

子ども施策推進のメッセージを

質問 ①「子ども条例」を策定し、子育て支援の推進メッセージを。②「子ども課」の設置は、行革ではなく市民サービス充実の視点で。③「こんにちは赤ちゃん事業」は、民生委員ではなく専門職に。④児童虐待やDVの発生と、雇用悪化の因果関係は。⑤乳幼児期の親に対する教育の機会は。

答弁抜粋 ②子ども関係の窓口一元化は、保健福祉部と教育委員会の業務見直しの問題もあるが、22年度からの設置に向け課題整理中である。③乳児家庭の全戸訪問は、今年から民生児童委員と連携して取り組む。④20年度の児童虐待は53件、DVは27件となっており、経済的困難も要因の一つである。⑤家庭教育は、今年度の最重点課題として、地区交流センターと連携して取り組む。12月を目途に「北上っ子五つの約束」を定め、教育運動を展開する。



活動あれこれ その1

8月29・30日 自治体議員研修会（仙台）

講演は「指定管理者制度の課題」で、コスト削減が優先され住民サービスの低下や、受託者側からクレームが続出、官製ワーキングプア問題…。情報交換では、地域で頑張っている議員が紹介された。



「40年間、朝5時の一一番列車からビラまきをしている」というスゴイ人や、29歳の新人議員などの活動が紹介され、行動力に感心した。

11月17日 後期高齢者医療制度広域連合議会で一般質問（盛岡）

広域連合の議会が開催され、一般質問を行ったのは、宮古の議員と私の二人だけだった。私は、①軽減に係る事務処理、②医療費見込み、③健保組合の解散、④制度改革の動向、⑤賦課徴収の権限変更について5項目の質問をした。これに対する答弁では、国の制度の矛盾や限界がにじみ出していた。しかし、声を上げていかなければ何も変わらないと思うのである。（2月議会でも一般質問で登壇）



2009年1月5日 新年街頭演説



毎週月曜日早朝、北上駅前と市役所前の街頭演説。また今年もスタートした。いつものとおり、小原宣良さん、久保孝喜さん、私の3人でマイクを握る。今日の演説は、派遣切りの問題や政治の無策、解散総選挙を求めるなど訴え、今年必ず行われる衆議院総選挙にむけての決意表明となった。

父子家庭にも支援を

質問 ①ひとり親家庭への支援状況は。②生活保護の母子加算廃止の影響は。③児童扶養手当の年数制限や財源負担率の変更について、国に対し是正を求めるべきではないか。④父子家庭にも、母子と同様の手当てを支給する考えはないか。

答弁 ①医療費補助は、母子784世帯、父子42世帯に支給し、児童扶養手当は母子841世帯のうち695世帯に支給している。②生活保護の母子加算廃止の一方で、就労促進補助や高校就学費等を創設している。③児童扶養手当は、5年間受給後に半額となるが、現在は経過措置として就労申し立てにより全額支給している。財源は、18年度から地方に転嫁され負担が厳しいので、市長会を通じて改善要望をしたい。④父子家庭でも経済的困難はあるが、財源の問題もあり手当て支給は難しい。



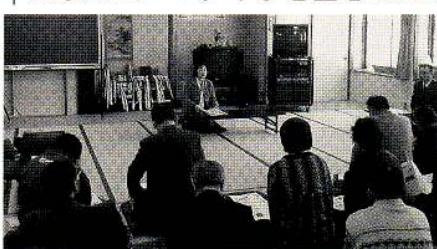
2月2・3日 地方財政セミナーに参加（東京）

政府予算と地財計画&地方交付税の特徴などについての講演会が開催された。毎年参加者が増え、今回も600名の参加。地方財政危機に対応しようという自治体職員や議員の熱心さが伝わってくる。



世界的大不況の中で、政府の機能低下も問題であるが、地方自治体は、福祉、医療、教育など基本的なサービスをしっかりと確保しつつ、当面の緊急雇用確保のために可能な限りの財源を投入し…地域の市民・労働者の安心と信頼確保に全力をあげて取り組むべき時と、言うは易しだが…

2月22日 「ケイ子を囲む3区の会」



毎年恒例の市政報告会を開催し、問題になっている第三セクターホテルの民事再生について、市当局の論点と問題点の両面を説明した。

参加者からは、税金の未納を補助金で支援することに、大きな反発の声が出された。経営者責任について追求する発言もあった。行政の支援で民事再生をする方が「お得」という問題ではなく、健全なモラルやバランス感覚は市民の側が持っていると感じた。

4月5日 江3区宿組 春まつり山車運行

江釣子神社の火防祭で、山車の運行と踊りの門付けを行った。山車は、「風流篤姫江戸城無血開城の体」というもので、とても立派だったし、踊り子さんたちもきれいどころだと、お世辞?を言わながら一日中踊り歩いた。



皆さんの参加をお願いします

活動あれこれ その2

4月 16日～18日 地方自治研究全国集会（札幌）



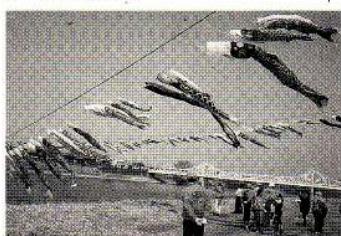
旭山動物園名誉園長の小菅正夫さんの講演があり、期待していたとおりのすばらしい内容だった。廃園予定の市立動物園を市民に支えられる動物園にするために、徹底的に市民ニーズを調査したことや、動物本来の特徴を見てもらうための施設整備を市長と交渉したことなども熱く語っていた。また、ゴリラやペンギンなどの動物の特徴や、生命力の不思議など興味深い講演だった。今だったら、コスト最優先の中で、真っ先に廃止されてしまうが、このような熱い公務員が周囲を動かしていくのかなあと思った。

翌日からは6つの分科会が行われ、私は「児童虐待」の分科会に参加した。多くの実践報告があり、大変参考になった。

4月 11日 北上川に鯉のぼりを設置

今年も「北上川に鯉のぼりを泳がせる会」（会長：高館博人氏）が、約300本の鯉のぼりを泳がせた。この会は、20年以上も前から会員たちのボランティアと協賛金で活動している団体であり、自主性と積極性に頭が下がる。

当日はお天気に恵まれ、会員や電気事業者が午前中の作業を行った。2本のワイヤーに鯉のぼりが元気に泳いでとてもきれいだった。



6月 7日 江釣子婦人会移動研修



おこしの評判になり、数々の全国表彰を受けた。農業商業関係者からの講演依頼も多く、土日はすごく混雑しており、この日も団体が入っていた。

2階では、70代80代のおばあちゃんが、元気に蕎麦打ちをしており、「働けることがうれしくてボケてなんかいられない」と楽しそうに話していた。山の中で、女性たちが収益を上げている事は貴重なことで、こっちが元気をもらうようだった。

あとがき 「ケイ子さんが来てくれて本当に心強かった。なにとぞよろしくお伝えください。」少し古い話ですが、昨年末、江釣子幼稚園の民営化を見直してほしいという要望書の提出に、ケイ子さんも同行しました。

いよいよ要望書提出という時、若いお父さんやお母さんたちが緊張と不安でいっぱいの時に、颯爽とケイ子さんが現れた。まさに正義の味方、後光が差して見えたかもしれません。

「私たちだけでなく、多くの市民もケイ子さんを必要としている」と実感することができました。（事務局）

「介護フォーラム」社民党時局講演会

～他人ごとじゃない、今、変えなくちゃ！！未来のために～

7月 11日（土）

午前 10時～12時

さくらホール（小ホール）

講演 ①「介護の現状について」

大泉 勝 氏（敬愛園前園長）

講演 ②「福祉型社会をめざして」

小原 宣 良さん



老後と家族を支える制度としてスタートした介護保険。3年毎の見直しのたびに、保険料アップとサービス抑制が続いている。安心して老いることができるか、誰もが直面する問題で、高齢者だけの問題ではありません。

財政論に左右される現実を打破するために、制度の改善にむけて一緒に考えましょう。

おすすめ映画鑑賞

婦人会映画会「西の魔女が死んだ」

感動だけでは終わらない

早くも涙のリレーが始まっています

学校に行けなくなった少女が、森で暮らす“西の魔女”と呼ばれるおばあちゃんと過ごすことに…。傷ついた少女が愛されることの喜びを知り、生きる力を取り戻していく…（あとは見て下さい）

▼市婦協は、この収益金を北上市福祉基金に寄附し、社会貢献の活動とするものです。（20年度は15万円寄付しました）ご協力を…。

期 日 7月 25日（土）

時 間 ①午後 2時 ②午後 6時

場 所 さくらホール（大ホール）

入場料 大人 1,000円（当日券 1300円）

小中高 500円（当日券 700円）

チケットは市婦協会員、福祉団体等、プレガードで

女優たちによる朗読劇

「夏の雲は忘れない」

日 時 7月 30日（木）

場 所 さくらホール（大ホール）

前売券 大人 2,000円

（当日券 2,500円）

小・中・高校生は無料（整理券が必要）

64年前のヒロシマ・ナガサキ。子供たちや母親たちの手記、手紙、詩などの舞台です。今だからこそ聞いてほしい、子どもたちとお母さんの声。

有名な女優さんたちが、全国各地で毎年夏に公演しています。北上では6名の女優が出演します。